

放射線源の安全とセキュリティに関する今後の検討課題と検討の進め方について

平成 18 年 6 月 27 日
事務局

1. これまでの検討状況

放射線安全規制検討会では、放射線源の安全とセキュリティに関する検討ワーキンググループを設置し、放射線源の安全とセキュリティに係るガイドライン(案)の作成、放射線源登録について検討し、これまでの検討内容についての中間報告書を取りまとめた。

2. 今後の検討課題及び検討体制

放射線源の安全とセキュリティについて

・IAEAの動向を踏まえつつガイドライン(案)の見直しを行うとともに、放射線障害防止法における放射線源のセキュリティ確保の明確化、文部科学省及び放射線取扱事業者におけるセキュリティに係る取り組み等の制度化に向けた検討を行う。

放射線源登録について

・IAEAの行動規範において国の関与による制度化が求められており、放射線源登録の制度化と登録スキーム、対象とする放射線源、登録すべき情報とタイミング、線源の識別方法と確認方法等に係る制度面及び技術面について検討することとする。

検討体制

・ については、引き続き、放射線源の安全とセキュリティに関する検討ワーキンググループにて検討を進め、本検討会に報告し制度化に向けた検討を行う。

・ については、放射線源登録制度検討ワーキンググループを新たに設置し、放射線源登録に関する課題について検討することとする。なお、検討に当たっては放射線源の安全とセキュリティに関する検討WGメンバーを中心に再編成し、国際規制物資の計量管理の専門家等を新たに加える予定である。

また、線源登録等に係る基礎情報の収集と概念設計等についての調査委託を予定している。